

第2章

施策マネジメントシートによる評価

まちづくりの基本目標 2

心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり

1 学校教育の充実

第5期芽室町総合計画

政 策	2-1	豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実
施 策	└──	2-1-1 学校教育の充実
主 管 課	教育推進課	

2 社会教育の推進

第5期芽室町総合計画

政 策	2-1	豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実
施 策	└──	2-1-2 社会教育の推進[主管課]社会教育課
主 管 課	生涯学習課	

3 地域文化の振興

第5期芽室町総合計画

政 策	2-2	地域文化の形成とスポーツ環境の充実
施 策	└──	2-2-1 地域文化の振興
主 管 課	生涯学習課	

4 スポーツしやすい環境づくり

第5期芽室町総合計画

政 策	2-2	地域文化の形成とスポーツ環境の充実
施 策	└──	2-2-2 スポーツしやすい環境づくり
主 管 課	生涯学習課	

施策番号 2-1-1	施策名 学校教育の充実	基本目標 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり
	主管課 教育推進課	政策名 豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実
	課長名 有澤勝昭	内線 441
	施策関係課	

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
地域社会と連携しながら信頼される学校づくりを推進し、新しい時代を自ら切り拓くことができる心身豊かな人づくりを目指します。		児童生徒	・確かな学力、豊かな心と健やかな体を育み、未来を切り開くための資質・能力を身につける				児童生徒が社会に出たときに自立できる	
成果指標	説明	単位	算定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 「授業の内容がわかる」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	75.8	74.0	77.1	79.0	80.0	
② 「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	72.2	77.4	75.8	77.0	78.0	
③ 「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	85.7	87.7	85.2	88.0	90.0	
④								
成果指標設定の考え方	成果指標の設定は、全国学力・学習状況調査の結果を採用し、「豊かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む上で、3つの指標を設定した。 目標値の設定は、各成果指標共に5%程度の上昇を目指し設定した。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	907,458	895,658	1,184,039
人正数(業務量)	6.4412	7.0169	7.5902

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
① 2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	成果指標③は停滞したが、①と②は上昇。⇒これは、小学校全学年での35人以下学級編成、授業改善推進チームの組織的定着、特別支援教育の充実による効果が見え、全体的に成果は向上したと考える。
② 2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①、②の指標については、小学校全学年での35人以下学級編成や授業改善推進チームの組織的定着、地域コーディネーター複数配置による特別支援教育の充実、更には、令和3年度から開始する児童生徒一人一台端末の配布によるICT教育の充実により、個に応じた学習支援を継続することで目標達成を目指す。 ③の指標については、栄養教諭による全校全学級を対象とした食育指導の継続や令和3年度より開始した「食農教育」の充実により目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
① 施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	① 小学校・中学校施設維持管理事業 ② 児童生徒支援事業 ③ 小学校・中学校教材・教具整備事業 ④ 学校給食管理運営事業	② 施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③ 事務事業全体の振り返り(総括)	・「①」⇒令和2年3月に策定した「芽室町学校施設等長寿命化計画」に基づき長寿命化に向けた効率的な工事実施を進めた。特に、令和2年度はICT教育推進のため校内の通信ネットワーク環境の整備を進めた。 ・「②」⇒小学校全学年35人以下学級編成のため、町独自で臨時教諭を配置した。特別支援教育の推進のため、地域コーディネーターや教育活動指導助手、学校支援員を配置し、個に応じた学習支援を実施した。 ・「③」⇒学校におけるICT教育推進のため、令和2年度に児童生徒一人一台の端末を整備すると共に、教員用パソコンについても一斉更新を行った。 ・「④」⇒栄養教諭による全校全学級の食育指導を実施すると共に、芽室産食材を活用した「めむろまるごと給食」の提供や「食農教育」の充実を進めた。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果					
進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

A: 実現した
 B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
 C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
 E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	《施策を取り巻く状況》 ①学校施設などの老朽化対策や多様なニーズへの対応。(R1:芽室町学校施設等長寿命化計画策定)／②「社会に開かれた教育課程」の実現を重視した新学習指導要領への対応。(R2:小学校、R3:中学校で全面実施)／③特別な支援や配慮を必要とする児童生徒の増加への対応。(R2:地域コーディネーター複数配置)／④「学校におけるICT環境整備方針(GIGAスクール構想)」への対応。 《今後の予測》 ①個別施設毎の長寿命化計画の策定に基づく計画的整備が必要である。／②「地域とともにある学校づくり」を推進するためコミュニティ・スクールの取組が必要である。／③地域コーディネーター複数配置、教育活動指導助手、学校支援員の充実による発達支援システムの推進が必要である。／④校舎内における通信環境の整備、児童生徒一人一台端末を整備を行い、ICT環境の活用を進めていく必要がある。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	・「地域とともにある学校づくり」としてのコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進。(R1:学校運営協議会制度開始) ・「GIGAスクール構想」の実現に向けたICT計画の策定。(R2:芽室町教育委員会ICT整備・活用指針策定) ・食農教育の推進を踏まえた「めむろまるごと給食」の事業見直し。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

●新学習指導要領実施など教育環境の整備に向けた対応(児童生徒支援事業、小学校・中学校教材・教具整備事業) ⇒外国語活動・外国語科の推進に向けた英語指導助手の配置や、プログラミング教育等のためのICT教育環境(GIGAスクール構想)の整備 ⇒少人数学級の継続や発達支援システムと連携した特別支援教育の充実に向けた人員の増員 ●学校施設などの環境整備(小学校・中学校施設維持管理事業) ⇒芽室町学校施設等長寿命化計画に基づく老朽化改修と多様なニーズに対応した施設整備 ●学校給食の提供や食育指導に向けた体制の充実 ⇒児童生徒数の減少に伴う道教委配置の栄養教諭の減員に伴う対策と体制の充実及び食農教育の実施	
---	--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	進捗結果	A	B	C	D	E
				○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	進捗結果	A	B	C	D	E
				○		
今後の取組に対する意見	・タブレットを入れる袋や持ち帰りバックの斡旋を学校か町で考えてほしい。／(冬休み等の家庭学習で)学習進度が遅れないように頑張っていたきたい。また、タブレットの使う時間が増えると視力の低下など健康面での影響もあると思うので注意していただきたい。／時代・社会の変化により、求められる資質や能力が変化している中、新たな成果指標が必要なのではないか。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した				

施策番号	施策名	外部意見		担当課
2-1-1	学校教育の充実	意見	タブレットを入れる袋や持ち帰りバックの斡旋を学校か町で考えてほしい。	教育推進課
		対応方針	1 対応する 2 検討する ③ 対応不可	
		対応事業名	教材・教具整備事業(小学校・中学校)	
		対応内容	タブレットの持ち帰りについては、通学カバンに入れて持ち運ぶことを想定しているため、専用バックを導入する予定はありません。	
2-1-1	学校教育の充実	意見	(冬休み等の家庭学習で)学習進度が遅れないように頑張っていたきたい。また、タブレットの使う時間を増えると視力の低下など健康面での影響もあると思うので注意していただきたい。	教育推進課
		対応方針	1 対応する ② 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	教材・教具整備事業(小学校・中学校)など	
		対応内容	冬休み期間におけるタブレット持ち帰り試行の可否など、学校側と協議していく予定です。 また、児童生徒の健康面へのケアについては、使用時には画面から目を離し姿勢よく使用することや、30分使ったら一度20秒以上画面を見ない時間を設けるなど、児童生徒の健康に関する留意事項についても、タブレットの使用ルールに盛り込むよう、各学校に周知しております。	
2-1-1	学校教育の充実	意見	時代・社会の変化により、求められる資質や能力が変化している中、新たな成果指標が必要なのではないか。	教育推進課
		対応方針	1 対応する ② 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	児童生徒支援事業ほか	
		対応内容	次回の成果指標を策定する際には、新学習指導要領に基づいた視点も持ちながら策定します。ただし、継続が必要なものもあるので、成果指標の追加も含め検討します。	

施策番号	2-1-2	施策名	社会教育の推進	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり
		主管課	生涯学習課	政策名	豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実
		施策関係課	教育推進課	課長名	日下勝祐
				内線	451

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
学習機会や場の提供など学習環境の充実を図るとともに、自発的な取組への支援を図ります。		町民	・「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学ぶことができる学習環境を整備する					町民一人ひとりが自ら進んで学習に取り組み、人と人とがふれあい、心豊かに充実した生涯を過ごせるまちづくり
成果指標	説明	単位	算定値(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 児童生徒の社会教育事業への参加者数	生涯学習課(旧社会教育課)調べ	人	1,313	881	595	600	1,190	
② 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	%	39.1	75.4	80.0	80.0	45.0	
③								
④								
成果指標設定の考え方	①児童生徒数の減少率を考慮するも参加率を維持するもの。 ②前期計画で達成できなかった40%の目標値を超える評価を目指すもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更)							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	148,955	115,606	141,350
人工数(業務量)	3.4688	3.7783	3.5428

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	①社会教育事業全般、特に児童生徒を対象とした体験・交流事業はコロナ感染症の影響により中止を余儀なくされるなど、十分な事業の実施とならず成果を上げることができなかった。 ②社会教育関係団体の活動への評価とコミュニティ・スクール活動への期待が込められたものと解している。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	児童生徒の社会教育事業の参加については、コロナ感染症の影響等を見極め、徐々に体験・交流事業を再開するとともに、コミュニティ・スクールやジモト大学事業の推進により達成可能。 また、生涯学習機会の充実では、コミュニティ・スクールでの地域住民の参画を積極的に推進することや、公民館、図書館、高齢者学級の実施のほか、社会教育関係団体の活動充実により達成可能。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	社会教育事業全般にわたり、年度当初に計画していた事業はコロナ感染症の影響によって、ほとんど実施できない状況となった。特に児童生徒への体験・交流事業などの中止は、学校生活のみならず、課外活動においても大きな制約や支障が生じることとなり残念な結果となった。図書館や公民館の利用者にもご不便をおかけすることとなり、若い世代から高齢世代まで社会教育事業への参加に制限が多く、満足の得られる結果とはならなかった。 しかしながら、コミュニティ・スクールの実施において、地域のボランティアの皆さんをはじめ協力を申し出てくださる団体など、今後の地域コミュニティの充実へ着実に進んだ事業もある。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果					
進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

A:実現した
 B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
 C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
 E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・生涯学習において「いつでも、どこでも、誰でも」が自由に学べる学習環境の整備 →学習形態の多様化に対応するための住民ニーズに沿った事業検討(デジタル学習への対応など) →地域住民のくらし満足度に寄与する学習機会の確保、地域コミュニティ充実への環境づくり ・子ども、子ども会活動の減少 →地域活動や広域での連携、世代間交流の実施などによるコミュニティ活動の推進 ・コミュニティ・スクールやシモト大学事業の取組みによる地域コミュニティの活性化、地域教育力の向上
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	・コミュニティ・スクールの取組について周知方法の多様化 ・子ども会活動の継続支援(単位会の減少や役員のなり手不足) ・公民館の施設充実(改修に向けて機能強化) ・図書館の空調と通信環境の改善

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

・社会教育推進中期計画(H31-R4)の着実な推進 →コミュニティ・スクールの推進。地域学校協働活動の推進による学校・家庭・地域・行政の連携強化。地域コミュニティの活性化。 →シモト大学事業の実施。持続可能な地域社会の創り手育成のため、コミュニティ・スクールと連携して実施。郷土愛の醸成など。 →高齢者学級の学習プログラムの随時見直しと、通園のための交通手段の確保 ・社会教育施設の有効活用と維持管理 →公民館の機能整理(教委事務所移転後の改修) →図書館機能の再点検(学習環境と図書との在り方) →かっこう、ねんりんの運営方法と維持管理の適正化
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、前進したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

今後の取組に対する意見

5に記載の取り組みを進めてください。

A:実現した
 B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
 C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
 E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標やコミュニティスクールの取り組み等から、「C前進した」と評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

今後の取組に対する意見

- ・コミュニティスクールの存在を知らない保護者のためにも、周知や募集の方法をより工夫してほしい。
- ・コミュニティスクールの情報について町内会に情報が入っていない。地域といいながら町内会としては何をすればよいのか。町内会で協力できる部分はしていきたい。
- ・子供同士や、揖斐川町・トレーシー市との交流にタブレットを使用してみたいかどうか。
- ・コミュニティスクールを多くの人に知ってもらうために、ホームページやFacebook等に記載されている情報を紙にして、施設に置いていただきたい。

A:実現した
 B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
 C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
 E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

施策番号	2-2-1	施策名	地域文化の振興	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり
		主管課	生涯学習課	政策名	地域文化の形成とスポーツ環境の充実
		施策関係課	環境土木課	課長名	日下勝祐
				内線	451

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
地域における文化活動への参加を促進するとともに、文化財などの収集・活用をすすめます。		町民		・文化・芸術を身近に感じさせる地域づくり				心豊かに暮らせるまち	
成果指標	説明	単位	算定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 文化活動がしやすいと感じる町民の割合	住民意識調査	%	42.2	74.3	77.4	78.0	45.0		
② 地域文化活動への参加者数	生涯学習課(旧社会教育課)調べ	人	1,196	1,220	1,384	1,400	960		
③									
④									
成果指標設定の考え方	①前期計画で得られなかった評価(45%超)を目標値としたもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②現状の加速する減少率を改善し下げ止まりの傾向を示すもの。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	12,224	14,003	8,859
人工数(業務量)	0.6589	0.5721	0.6829

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	①②ともに指標は前年を上回ったものの、コロナ感染症の影響で、事業は縮小又は中止を余儀なくされた。そうした中、文化協会や町民活動支援センター登録団体など関係団体の活動が評価されたものと解する。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	昨年は未実施であるが、町民参加による芸術鑑賞会実行委員会による企画・実施の取組みを改めて実施する。 また、文化活動の確保と充実に向け、文化協会をはじめ関係団体と連携し、多くの町民が参加できる事業の実現を図ることで達成可能。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芸術鑑賞会等開催事業 芸術・文化振興支援事業 ふるさと歴史観運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・町民との連携による文化芸術活動の充実 昨年は実施できなかったが、芸術鑑賞等開催事業では、町民参加による実行委員会組織での企画・運営が幅広い視点ときめ細かな運営であり、参加者からの高い評価につながっている。 ・児童生徒の文化芸術振興 全国全道大会出場支援は、文化活動がしやすいと感じる町民の割合への貢献度が高い。 ・文化活動団体の会員等の減少や指導者、後継者の確保という課題に対し、団体としての活動への魅力を再考するなど新たな取組みが必要である。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

A:実現した

B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した

C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した

D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した

E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・芸術鑑賞会の開催は、町民参加による内容検討委員会から発展した実行委員会組織として企画・運営を担っていただき、高評価を得ていることから、継続実施として内容充実に努める。 ・文化協会会員の高齢化と会員の減少については、引き続き協会会員との意見交換をとおして、指導者の確保、後継者不足への対応を協議するとともに、団体としての魅力向上の取組みを再考する必要がある。 ・吹奏楽活動への支援として、鑑賞会、クリニック等の充実に図る必要がある。 ・フレンドリーコンサートの内容充実と鑑賞者の増を図る工夫が必要である。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	・文化協会活動に要する施設利用料の減免要請。

5. 施策の成果向上のための具体的な取組み(今後強化すべき取組み、新たに実施すべき取組み)

・芸術鑑賞会の継続開催。幅広い視点と町民ニーズの多様化に応じた企画・運営のための実行委員会組織の充実。 ・「一流を見て、聴いて、学ぶ」視点から、鑑賞会のほか、技術や取組姿勢などについて学ぶクリニックの開催。 ・文化芸術活動に対する施設使用料の含めた社会教育施設使用料のありかた検討。 ・文化協会の活動内容などを検証し、魅力ある組織、活動への協議を検討。 ・指定管理者と連携した公民館講座の充実。 ・文化活動に必要な設備備品の計画的な整備。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価		A	B	C	D	E
成果指標等から、前進したと評価する。	進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価		A	B	C	D	E
成果指標等から、「C前進した」と評価する。	進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	・文化展への出展作品が減っていく中で子供たちの参加はすごく大切なので、ぜひ今後も参加してほしい。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した				

施策番号 2-2-2	施策名 スポーツしやすい環境づくり	基本目標 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり
	主 管 課 生涯学習課	政策名 地域文化の形成とスポーツ環境の充実
	施策関係課	課長名 日下勝祐
		内 線 451

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
町民がいつでも気軽に自由にスポーツできる環境づくりをすすめます。		町民	いつでも気軽に自由にスポーツできるようにする					健康で明るいまちづくりを実現する
成果指標	説明	単位	策定時(2017年度)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	92.2	83.6	83.8	84.0	95.0	
② 芽室町内の体育施設利用者数	利用実績	人/年	177,638	165,626	115,020	150,000	180,000	
③ 高校生以下の初心者がゲートボールを体験できる機会	生涯学習課(旧社会教育課)調べ(教室・講座数)	回/年	34	33	18	23	46	
④								
成果指標設定の考え方	①住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②前期計画で達成できなかった数値を目標とするもの。 ③事業機会を30%UPで推進しようとするもの。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	262,925	202,831	181,403
人件費(業務量)	1.8149	1.9441	1.6899

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の 成果評価	☐ 成果は向上した	想定される理由	スポーツ振興事業全般においてコロナ感染症の影響により施設の閉館や事業の縮小または中止を余儀なくされ、十分な事業の実施とならず成果を上げることができなかった。しかしながら、近年のソフト事業の充実と施設の維持管理に一定の評価をいただいたものと解している。
	☒ 成果は変わらなかった		
	☐ 成果は低下した		
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠(理由)	民間企業・団体等との連携協定事業の充実、町民参加機会を確保するとともに満足度への貢献も大きい。社会体育施設再整備構想に基づき、施設の適正な環境整備を推進する。 本町発祥のゲートボールの推進を加速し、競技として継続できる環境づくりに努める。
	☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能		
	☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい		
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・民間団体との連携事業、特に北海道十勝スカイアース、北海道日本ハムファイターズとの協定に基づく事業は町民からの期待度も高く、すでに実施した事業への評価、満足度も高いといえる。しかしながら、本年度はコロナ禍で事業縮小や中止を余儀なくされた。今後も引き続き貴重な機会を活用し町民満足度の向上を図る。 ・各種大会出場への支援は継続実施するが、見直しも含め内容を検討する。 ・ゲートボールの競技人口が減少しており、競技としての存続の危機という認識で今後の取組みを加速して進めて行かなければならない。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
 B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
 C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した
 D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した
 E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・社会体育施設再整備構想に基づく計画的な施設整備と維持管理の実施。特に温水プール建替事業の適正実施。 ・スポーツ振興のソフト事業における民間企業・団体との事業連携の強化。「一流を見て、聴いて、学ぶ」ための町民参加事業の実施。 ・ゲートボール競技人口の減少。若年層や現役世代社会人に対する普及活動の強化。日本ゲートボール連合の「再生プロジェクト」及び本町「挑戦の流儀」の実施。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	・温水プールの早期建替要望 ・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備 ・社会体育施設周辺環境整備(駐車場、トイレ、支障木) ・ゲートボール普及事業の強化

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備 → 温水プール建替に関する作業の適正実施 → 施設機能の維持に要する計画的修繕 ・民間企業・団体等との連携によるスポーツ振興ソフト事業の強化(一流を見て、聴いて、学ぶ) ・ゲートボール普及事業において、日本ゲートボール連合が掲げる「再生プラン」への参画と、本町「挑戦の流儀」の着実な推進 ・少年団活動における指導者確保について、総合型地域スポーツクラブの調査研究と指導者派遣について検討し、事業化を見極める

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標はコロナ禍による外的要因であることから、変わらないと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果に向けて計画どおり進んでいる。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	・メムロスギ一帯を生産子官の場として、町民に利用しやすい環境にしてほしい。／・住民意識調査で意見の多い、バスケットのできる環境を整備していただきたい。／・発祥の地杯ゲートボール大会を、出たいと思わせる重みのある大会にしていきたい。／・発祥の地杯ゲートボール大会のプラカード持ちはいい思い出になると思うので、ぜひ実施していただきたい。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

施策番号	施策名	外部意見		担当課
2-1-2	社会教育の推進	意見	コミュニティスクールの存在を知らない保護者のためにも、周知や募集の方法をより工夫してほしい。	生涯学習課
		対応方針	① 対応する 2 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	少年教育活動運営事業	
		対応内容	地域学校協働活動(学校支援ボランティア含む)について、行政側の情報発信において、更に媒体などでの改善を加えるとともに、学校現場やPTA活動時等における積極的な情報発信についても共通認識を図ります。	
2-1-2	社会教育の推進	意見	コミュニティスクールの情報について町内会に情報が入っていない。地域といいながら町内会としては何をすればよいのか。町内会で協力できる部分はしていきたい。	生涯学習課
		対応方針	① 対応する 2 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	少年教育活動運営事業	
		対応内容	地域学校協働活動に町内会として参画いただき、学校とともに児童生徒の育みへ支援をいただけることは、地域コミュニティの活性化にもつながる大変重要な取組みとなります。今後の活動について情報提供し、調整作業を進めていきます。	
2-1-2	社会教育の推進	意見	子供同士や、揖斐川町・トレーシー市との交流にタブレットを使用してみてもどうか。	魅力創造課
		対応方針	1 対応する ② 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	少年教育活動運営事業 国際交流推進事業、揖斐川町交流推進事業	
		対応内容	タブレットの活用については「社会教育にできること」を整理する必要があり、GIGAスクールの進捗状況も見極め事業実施を考えます。 また町施策として町の魅力発信の観点などから「町民の生涯学習活動」としての取組みも考えられますので、オンラインによる交流は新たな手法として実施に向け検討します。	
2-2-1	地域文化の振興	意見	文化展への出展作品が減っていく中で子供たちの参加はすごく大切なので、ぜひ今後も参加してほしい。	生涯学習課
		対応方針	① 対応する 2 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	芸術鑑賞会等開催事業	
		対応内容	今後も保育所・幼稚園などと作品出展について継続実施を協議するとともに、児童・生徒の個人・団体における文化活動の発表機会としての充実を図ります。	

施策番号	施策名	外部意見		担当課
2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	メムロスキー場を生涯学習の場として、町民に利用しやすい環境にしてほしい。	生涯学習課 魅力創造課
		対応方針	1 対応する ② 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	スポーツ少年団活動支援事業 芽室町体育会運営支援事業	
		対応内容	スポーツ振興の観点から、他の種目と同様に、町民がスキーに取組む環境として行政の支援が必要と判断できる事項については検討する必要があると考えます。	
2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	住民意識調査で意見の多い、バスケットのできる環境を整備していただきたい。	生涯学習課
		対応方針	1 対応する ② 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	屋外体育施設維持管理事業	
		対応内容	現在、体育施設の再整備においてプールの建替事業を進めていますが、今後、現プール跡地利用を含めた総合体育館周辺の屋外体育施設の整備の中で検討することとします。	
2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	ゲートボールの大会である発祥の地杯を、出たいと思わせる重みのある大会にしていきたい。	生涯学習課
		対応方針	1 対応する ② 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	発祥の地杯ゲートボール大会開催支援事業	
		対応内容	大会開催にあたっては、実行委員会を組織し運営にあたっていますので、その中で今後の大会運営に関する事項について十分協議を重ねていきます。	
2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	発祥の地杯ゲートボール大会のプラカード持ちはいい思い出になると思うので、ぜひ実施していただきたい。	生涯学習課
		対応方針	1 対応する ② 検討する 3 対応不可	
		対応事業名	発祥の地杯ゲートボール大会開催支援事業	
		対応内容	大会開催にあたっては、実行委員会を組織し運営にあたっていますので、その中で今後の大会運営に関する事項について十分協議を重ねていきます。	

